

平成28年度
北海道教育大学
附属函館幼稚園だより
NO. 10 【号】
平成28年12月1日(木)



ものを作って・演じて自分を知ろうとしている園児はすごい

園長 橋本 忠和

今日はもう12月、師走です。今年の新年に「今年こそ・・・」と誓った、絵画制作や剣道昇段は、どうやら来年に継続になりそうですが、1月からの手帳のスケジュールを見ていくと、4月から園長になり、園児・保護者の皆様や教職員と多様な行事や保育活動に挑むことができ充実した1年になっていること嬉しく思っております。また、園児の笑顔からは「今日一日がんばろう！」というパワーをもらいました。

その園児のクリエイティブなパワーが12月なりドンドン、園にあふれています。そう12月4日のお遊戯会に向けての練習や制作が佳境に入っているからです。

練習する園児の姿を見ていると、芸術家として創作に関わるものとして「凄い」と感服し、真似したいと思う瞬間があります。

それは「準備はいい、すぐに創作を始めよう」とする「創作への勇氣」ある姿です。

得てして、私もそうですが「自分は何なのか、自分は何がしたいのか？」それが分かるまで、理想の自分像を探すあまり、創作への一歩がなかなか踏み出せない場合があります(右図)。

でも、園児たちは、足を踏み出すのを全く怖れていません。なぜなら、彼らは、音を作り、演技をつくりこと、すなわち「つくる」ことで自分のできることを確かめる＝「自分を知ろう」としているからだと考えます。そして、その未知の創造に挑む勇氣の源は、泉のように湧く好奇心と思われます。

園では、一人一人の好奇心を大切に、お遊戯会の本番に向けて日々、多様な創作活動を展開しております。お忙しいかと思いますが、ぜひご来場になり、その挑む姿を応援していただければ幸いです。

それから9日金曜はクリスマス会です。少し早いクリスマスですが、サンタさんが来て園児たちがプレゼントをもらえるといいですね。さらに、16日(金)には日本の伝統行事の餅つきがあります。各家庭では餅をつく機会が減少している中での催しです。保護者の皆様ご理解・ご協力があるからこそできる行事です。どうぞよろしくお願いいたします。



写真 「きらきらぼし」練習中の花組

